



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣オ1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F
 会長 柳川和一郎 幹事 宮田敬之佑 会報委員長 土岐甚五郎

オ144回 例会 昭和53年6月19日(月) 於海南商工会議所

1. 開会司会 柳川和一郎
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. 出席率 81.82% 会員総数 33名 出席者数 27名
前回修正出席率 87.88%
4. ビジター 島村安彦様(和歌山R.C.) 松本茂様(和歌山東R.C.)
 栄川純三様(海南R.C.) 津本 覚様(海南R.C.)
 夏見健蔵様(") 山西増夫様(")
 上井紀了様(") 堂田武治様(")

5. 会長スピーチ

ビジターの方々マイキャップ有難う御座居ます。昨日、今日と暑い日が続いて居りますが、梅雨も一足先に夏が来た様な感じで、皆様健康に御留意されて御活躍下さい。本日ロータリー財団から角谷さんに対しフェロシップの証書が届いていますので、お手渡ししたいと思います。之で終らせて貰います。

6. 幹事報告

- 例会場、日時変更のお知らせ
 和歌山東R.C. 6/29(木) P.M. 6:00 県信ル7F大ホール
 和歌山東南R.C. 6/24(土) P.M. 6:00 精養軒
 和歌山南R.C. 6/30(金) P.M. 6:00 農協会館
 和歌山 R.C. 6/27(火) P.M. 6:00 ちひろ
 海南 R.C. 6/28(水) P.M. 5:30 場所同じ
 海南東R.C. 6/26(月) P.M. 5:30 初音 7:00~9:00 エアポート懇親会
- ロータリー手帳、ロータリー道徳律、お配りしました塾読下さい。

SERVE TO UNITE MANKIND 全人類を結びつけるために奉仕せよ

- 8781 JUN 19 11:56
- 新入会員名簿お手元へ、10日以内に御異議は書面で
 - 職員退職のお知らせ ライオンズの伊織さん今月一杯で退職

7. 会員卓話 柳川和一郎会長

前はテニスのお話、今日は歴史のお話を聞いて頂きたい。その前に一年間の御礼を会長就任以来早や一年経ちました。皆さんの暖い御援助で支えて頂きまして、本当に有難う御座居ました。残る例会も後一回になり、中尾プログラム委員長に御無理申しまして、時間を取って頂きました。二度持てないであろう此のマイクをフルに使わせて頂きます。事此処に至りましては、一年を振り返って座を去る懐しさと淋しさが、一ぺんにこみ上げて参ります。

私今の仕事に掛る前、市場の仕事も一段落軌道に乗りました際、次に何をするか模索し乍ら2～3年遊んで居た時期がありました。今迄一番楽しい時間だった様に思います。ゴルフ、ヨットも其の頃始めました。

聖人の言葉に晴耕雨読という言葉がありますが、晴の日は田を耕し、雨の日は本を読むの言ですが、私は晴の日を遊び、雨の日は倉の書付を読みました。

いわゆる古文書です。

亡くなられた久世先生に指導を頂き乍ら読み進めました。普通倉とは、タンス長持、茶華道々具や金銀財宝の収納、又商業的には重要商品の収納する目的ですが、私の三つの倉には何もなく、唯古文書の書付が沢山保存されて居りました。雨の日はその書物を解読するのに時間を費やしました。原稿用紙で2000枚位現行文字に置換ええました。

お陰様でむづかしい文字もどうか読み、近郊の村、在所の大庄屋の行政的な文書も少しづつ分って参りました。

風土記の丘へ持って行かれた家の文書等も、読み上げて置いて、文化庁の来た昭和44年頃市役所の方にも説明が出来、県下に机上で推定1600戸位古民家が、リストにあった訳で、私共の家は出ていなかったのが、社会教育課の方へ資料を出して置いたのが、一次二次三次と撰に残りまして、結局私の家が商家と言う事で、国の重要文化財に指定をされまして、風土記の丘へ持って行った訳です。古文書の発見も自分でやった様な訳でした。

其の昔黒江の漆器は江戸送りのみで大変な仕事であった様です。

それから130年も前、母娘他二、三人の人で西国33ヶ所巡りした事、海南初代の商工会議所専務理事の川端さん宅へ、花岡さんの娘が嫁入して、その又娘おもとが私の家へ嫁に来たり、其の息子が和一郎という名前で、賢い人であったと23才の時黒江村の村長をした。私も其の名前をつけてもらった訳ですが……その賢い人も、医者の子孫も明治12年のコレラで死んでしまった。

又黒江の中で賭博が挙って、減刑の歎願に行ったりとか、一つ一つ面白い話が出てくる訳、今海南市が行って居る市史編さんに、役立つものは提供したいと思

っています。今のお話したいのは、其の内の一つで、母娘が西国33ヶ所をお詣りした時の事を聞いて頂きますと、

己酉嘉永貳年三月廿二日

妻為、娘於常十五才、日高上志賀村川瀬吉之佐衛門、妻お良供佐吉差添人日高藤井村惣助同行五人西国順拜同日出立、紀三井寺より札打、初め処々滞留拝見八十日相懸り、無滞札納五月十一日高志賀村より帰宅、尤此度の路銀雑用、貳貫八百匁の銀也

之を解明して現在どういう事になるかあてはめて見たい。昔は関西は商家として銀、関東は武家として金が流通の基本となるという事から、今の現銀、現金が発音迄関西、関東、今も名残を残して居ます。

1. 交通費	タクシー1日借り切り	25,000円×8日	200,000円
	京都見物タクシー1日分と気付		20,000円
	有料道路谷汲より帰路名神他		10,000円
	駐車料登山道通行料	300円×(33+2)	
	33番と番外		10,500円
	渡舟料竹生島華嚴寺行	2,500円×3名	7,500円
	ケーブル円教寺成相寺	500円×2×3名	3,000円
	小計		251,000円

2. 宿泊料及食糧費	差添人としての運転手含め4名荷持省く		
	1泊7,000円×4×8泊		224,000円
	昼食費1,000円×4×9回		36,000円
	喫茶外500×4×9回		18,000円
	小計		278,000円

3. 雑費			
	納経料	300円 350円 350円	
	おりずる納経料	掛軸の三種3名	
	(300+350+350)×35ヶ所×3名		105,000円
	賽銭	100円×35ヶ所×3名	10,500円
	京都土産代	10,000円×3名	30,000円
	西本願寺おかみそり釈馬遊1名のみ		50,000円
	用意おりずる納経帳掛軸等		
	(1,500+500+8,000)×3名		30,000円
	小計		225,500円
	合計	1人当り	150,000円 754,500円

そもそも嘉永二年は平和な年で、之より2~3年前広化3年には、和歌山城に

雷が落ちて天安が焼けた。之は有吉佐和子さんし佑左衛門四代記にも載っている。その前年には紀北の大洪水、海南では海映前の楠が、干潟港の金比羅さんの脇に其の頃植えられた。

其の後世相一変神奈川沖へ黒船が来たり、日方沖迄ロシアの船が来たり、騒然とした時代になって来る訳です。

安政の大地震、津波も此の時代、上記述べました金の価値基準は、お米の値段と税金で差金を当てて見ました。

税金の収納方法は、大官所から海南市ですと、日方組へそれから村々の庄屋（日方、黒江、藤白、名高、山田、扱沢、別所）元迄来まして、百姓迄令書来るのですが、その高は米計算、納付期限は米の出来る11月10日から20日迄商人、工業は米の生産が無いので、全部通貨に代えて収めた嘉永二年の一石の米高は銀百三匁二分此の時の建値

銀一貫八百匁二米17石4斗4升二政府買上米753,233円

之が一応5人の80日間の旅費になると思う。車で5人9日で順拝した費用は、上記の通り今昔比較して日程の短縮の差が大きい。道路の計測1850Kmが80日で歩く493軒平均6里妥当な線ではないかと思う端々話して来ましたが、之で終わります。



ニコニコBOX

西岡 豊君（昨年に引続き信金クラブ役員）

坂上充作君（ ” ” ）

河尻鳩親君（スズ虫毎年飼ってます、6月14日卵浮化御希望の方御申越下さい）

次回例会案内 № 145 昭和53年6月26日（月）PM5：30～ 於 初音

最終例会の為7：00→9：00エアポート 部外者無、車に御注意を

奉仕……それは感謝の気持ちから

才 266 地区ガバナー 菅 生 謙 三

奉仕するために出席せよ

1977～78年度会長 柳 川 和 一 郎